研修プランＢ９

同僚の実践から黒板等の活用について考える

■目　的　　互いの実践から黒板やホワイトボード等の活用について考え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む手掛かりとする研修会です。

■対　象　　校内

■時　間　　５０分

■形　態　　全体→グループ→全体→個人

※グループの分け方：４人程度で教科や学年が混在しているグループ構成

■準備物　　□授業で記録した板書やホワイトボード等の画像をカラー印刷したもの（人数分）

□上記を拡大印刷したもの（グループ数）

□模造紙（グループ数）

□付箋（人数分×10枚）

□黒サインペン（人数分）

□セロハンテープ　※カラー印刷したものを模造紙に貼る際に使用

□プロジェクタ、実物投影機　※画像を投影するものとして、状況に応じて用意

□本時や単元の学習指導案　※授業の概要を説明するものとして、状況に応じて用意

□小・中学習指導要領解説「総則編｣(平成29年6・7月公示)　※必要に応じて用意

□省察用の用紙　※状況に応じて用意

●研修前

〇提案者、準備、グループ構成等を決定し、事前に通知する。

〇研修会の概要等について、予め紙面等で伝達し、効率化を図る。

〇研修にあたって、解決したい自己の課題を確認しておく。

〇小・中学習指導要領解説「総則編｣(平成29年6・7月公示)の該当箇所を確認しておく。

●研修

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 流れ | 進め方 | 留意点等 |
| １ 研修の説明【全体】（５分） | 〇会の目的、流れ、時間、形態を確認して、見通しを持つ。 | 〇目的は上記「■目的」参照〇流れは左欄「流れ」参照 |
| ２ 協議【グループ】1. 付箋に記入

（５分）1. 付箋の貼付

（10分）参考資料1. 良さの整理

（10分）参考資料 | 〇板書等の画像をカラー印刷したものを配付し、良さを捉えて付箋に書き出す。〇画像をカラー印刷したものに付箋を貼る。〇A･Lの視点を踏まえて、どんな授業改善が図られているかを話し合い、整理する。 | 〇グループの分け方は上記「■形態」参照〇状況に応じて、実際の授業後の黒板、投影したもの等を提示する。「■準備物」参照〇良さの理由を説明しながら、該当する付近に付箋を貼る。内容的に近いものは重ねたり分類したりしていく。例１）「見通しが持てる板書」視点や方法が明らかで、解決への手掛かりになっている。例２）「思考を広げ深められる板書」対立や変容等、思考が構造的に明らかになり、視覚的に捉えやすくなっている。例３）「振り返りのできる板書」解決に至ったプロセスが明らかで、自身の学びと照らし合わせられる。 |
| ３ 共有【全体】①グループ発表（10分）②まとめ（５分） | 〇グループの代表者が、グループでの協議について発表する。〇共有した内容を整理し、今後の方向性等を明らかにする。 | 〇状況に応じて、プロジェクタや実物投影機を使用して進めてもよい。〇「２ 協議」の「③良さの整理」を中心に発表する。〇学校として育成したい資質・能力に迫るための、黒板やホワイトボード等の活用について整理する。 |
| ４ 省察【個人】（５分） | 〇今後の方向性等を踏まえて、取り組むべきことを記述する。 | 〇次の点を踏まえて記述する。・個人として課題に感じていること・個人として取り組むべきこと |

●研修後

個人での省察を踏まえて、教科や学年ごとで目指す子供の姿を見直し、黒板やホワイトボード等の活用を通した授業改善について話し合う。

（参考資料）まとめ方のイメージ

（良さを整理した模造紙）

